

令和 7 年度

スポーツセンター自動火災報知設備設計業務

仕 様 書

令和 7 年 10 月

日高川町教育委員会

# 設計業務仕様書

1. 委託業務名称  
令和7年度 スポーツセンター自動火災報知設備設計業務
2. 業務場所  
日高郡 日高川町大字 初湯川 地内
3. 設計概要  
(1) 業務内容  
スポーツセンター自動火災報知設備に係る実施設計業務
4. 業務範囲  
(1) 仕様書に基づき、調査、検討、協議のうえ実施設計を行う。  
建築設計  
(2) 実施設計図書及び仕様書の作成  
工事を分離し、または分割して発注する場合は、設計図書及び工事内訳書を分割して作成する。
5. 受託者は業務の詳細及び当該工事の範囲について、担当係員と連絡を取り、協議のうえ業務の遂行に当たること。
6. 設計業務期間  
90日間とする。
7. 設計受託者の留意事項  
(1) 業務上知りえた秘密は、他に漏らしてはならない。  
(2) 建築確認申請手続等、設計に伴う関係諸官庁への諸手続及び打合せ等は受託者において行う。  
又、これに要する費用はすべて受託者負担とする。(ただし、建築確認申請手数料は町負担とする。)  
(3) 貸与した資料は設計図書提出の際に返還する。  
(4) 受託した設計図書の著作権は町に帰属する。  
(5) 設計図書の作成は下記に示す図書とする。
  - a, 設計図
  - b, 特記仕様書
  - c, 内訳明細書(金入、金抜共)
  - d, 構造検討書(必要な場合)
  - e, 数量計算書等積算に必要な資料一式
  - f, 単価表(単価及び歩掛り等について算出根拠)  
(6) 設計図書の提出部数は係員の指示による。

## 8. 設計上の注意事項

- (1) 設計は関係法令及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書に準拠する他、細部については係員の指示による。
- (2) 工事見積額は、予算額を超えてはならない。なお設計に先立って概算予算内訳書を提出する。
- (3) 実施設計着手前に、配置図、平面図、立面図、各室仕上表、矩計図、構造計算図、設備計画図等の計画案を提出し、係員の承認を受ける。その他設計要目の決定についてはその都度打合せを要す。
- (4) 敷地内の設計建物に対する障害物（既設建築物及び地中埋設物等）は受託者においてこれを充分調査し係員と打合す。
- (5) 建築工事と設備関係工事を図面上分離させる場合は、その取合せ及び工事範囲については重複しないよう注意する。
- (6) 増築工事の場合、その取合関係を充分調査の上、明確にその取合せを図示する。
- (7) 新建材、特殊工法、特殊器等使用の場合は充分調査研究の上採用する。
- (8) 図面から数量計算ができるよう縮尺は適確に行ない寸法等の記載漏れがないこと。
- (9) 図面に基づく数量計算は適確に行うこと。積算は建築積算研究会制定の建築数量積算基準の解説により行うこと。また数量については、設計書及び図面など相互に関連するので記載に不一致がないこと。
- (10) 材種及び工種については比較設計を行う等経済性合理性のあるものを選定すること。
- (11) 施工対象部分を図面上明らかにすること。
- (12) 設計単価において、町で指示するもの及び建設工事標準歩掛（建設物価調査会編）、建設物価、積算資料、見積書（3社以上の見積で安価なもの90%程度を使用）で記入順に使用し適正な単価を使用すること。
- (13) 共通仮設費及び諸経費の算出は、設計基準に基づき的確に行うこと。

## 9. 設計図書の順序及び縮尺

順序	図 種	縮 尺	備 考
1	表 紙		
2	改修特記仕様書		工事概要、面積表（求積表含）を記入
3	平面図	1/100,1/200	関連する既設建物がある場合その関係も図示する。
4	天井伏図		
5	各階伏図		
6	仮設計画図		
7	「その他指示する図		

備考 1. 設計図書には全図葉数とNO数を記入する。

2. 設計書の工事別記載順序は仕様書に準ずる。

3. 主体工事と設備工事の工事範囲は明確に図示する。 以上

追 記

1. 二次製品の取扱いについては、三種類以上の同等品を選出し、その中で最も安価な物を採用し品名を記入するものとし、特記仕様書で同等品として比較した品名を記入すること。同等品が市場にない品物については原則として使用してはならない。又やむを得ず使用する場合は理由書を添えて係員に申し出て、その指示に従うこと。

2. 設計書において、申請及び手続き費用は全て諸経費に含まれるものとする。

3. 仮設材運搬費は、仮設各工事に含むものとする。